

# 日本光学会・ナノオプティクス研究グループ研究討論会 第20回記念シンポジウム

日時：2012年5月23日(水) 10:00～17:15

会場：慶應義塾大学 日吉キャンパス 来往舎

シンポジウムスペース(第一部・第二部)・大会議室(第三部)

10:00-10:10

開会のことば (ナノオプティクス研究グループ代表 山梨大学・堀 裕和)

**10:10-11:30**

## 第一部 「ナノオプティクスのこれまでとこれから」

10:10-10:30

福井 萬壽夫 (徳島大学)

「プラズモニクスの役割」

10:30-10:50

大津 元一 (東京大学 大学院工学系研究科)

「ドレスト光子:どこから来たか?どこへ向かうか?」

10:50-11:10

河田 聡 (大阪大学 大学院工学研究科)

「プラズモニック近接場顕微鏡:信頼性と再現性との闘いの結末」

11:10-11:30

堀 裕和 (山梨大学 大学院医学工学総合研究部)

「光と電子系の科学技術を統合するナノオプティクスの展開」

11:30-13:00 昼休み

**13:00-15:00**

## 第二部 「ナノオプティクスの今後を担う研究者からのメッセージ」

13:00-13:15

伊藤 民武 (産業技術総合研究所 四国センター)

「プラズモニックナノオプティクスにおける表面増強分光の今後の展開」

13:15-13:30

大平 泰生 (新潟大学 教育研究院自然科学系)

「光変形可能なナノ構造における光近接場励起と今後の展望」

13:30-13:45

岡本 晃一 (九州大学 先導物質化学研究所)

「プラズモニクスのグリーンデバイス応用の将来展望」

13:45-14:00

梶川 浩太郎（東京工業大学 大学院総合理工学研究科）  
「表面プラズモンのバイオ分野への応用」

14:00-14:15

高原 淳一（大阪大学 大学院工学研究科）  
「熱輻射からみるナノオプティクス未来」

14:15-14:30

田丸 博晴（東京大学 大学院工学系研究科附属 光量子科学研究センター）  
「界面だらけの波動科学としてのナノオプティクス」

14:30-14:45

納谷 昌之（富士フイルム株式会社 先端コア技術研究所）  
「ナノオプティクスへの産業界からの期待」

14:45-15:00

成瀬 誠（情報通信研究機構 光ネットワーク研究所）  
「ビックデータ時代とナノオプティクス」

15:00-15:30 休憩・ポスター準備

**15:30-17:15**

**第三部 ポスターセッション**

17:30-19:30 懇親会（来往舎内 ファカルティラウンジ）

**【会場のご案内】**

東急東横線・目黒線日吉駅、横浜市営地下鉄グリーンライン日吉駅より徒歩3分

